

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○2月15日～

日米ともに株価指数が高値更新を続け、相場はリスクオンの流れとなっています。為替相場ではドル売りの動きが少し出ていますが中期的にはドル/円、クロス円ともに堅調な流れが続きそうです。

ただし、テクニカルで見ると株価がかなり加熱しているため、調整入りをしてもおかしくない状況のためリスク回避の流れには注意したいです。

<ドル/円>

105円にのせてきたため下値を固めて、さらに上昇していく可能性が期待できそうです。

上値は、105.2円を超えると105.8円を再度トライしそうです。

下値は、104.3円を割り込むと一旦上昇が崩れた形になるので注意したいです。

<気になるクロス円>

高値更新しているペアが多く、週足、月足の抵抗も意識しながらトレードしたいです。

欧州通貨もオセアニア通貨も株価の上昇が続けば高値更新が続きそうですが株価の調整でクロス円も調整入りのリスクはあります。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では10-12月期GDP（速報値）、12月機械受注、1月全国消費者物価指数などがあります。

米国では2月ニューヨーク連銀製造業景気指数、12月対米証券投資、1月小売売上高、1月鉱工業生産、FOMC議事要旨、前週分新規失業保険申請件数、1月住宅着工件数、2月フィラデルフィア連銀製造業景気指数、2月製造業・サービス部門・総合PMI（速報値）、1月中古住宅販売件数などが発表されます。

欧州ではドイツとユーロ圏で2月ZEW景況感調査、2月製造業・サービス業PMI（速報値）、ユーロ圏で12月鉱工業生産、10-12月期GDP（改定値）などがあります。

ほかには、オーストラリアとカナダで小売売上高の発表などがあります。